



2023年
7月15日(土)→
9月18日(月・祝)

入場無料

ガスミュージアム
GAS MUSEUM がす資料館

10:00 - 17:00 / 月曜休館
ガスミュージアム「ガス灯館」2階ギャラリー

TOKYO GAS NETWORK

青山アパート A号入口(部分)

同潤会アパートが創つた

震災復興
100年

大正12年(1923)9月1日
に首都圈を襲った関東大震
災は、東京の街と暮らしに甚大な
被害をもたらしました。その復興
において、新たな都市の住まいの形
を創り出し、モダンで安全、快適
なくらしの象徴となつたのが
「同潤会アパート」でした。

同潤会は、震災の直
後の大正13年(1924)

3月に、被災者に安定
した住宅を供給すること
を主な目的として、世界各地
から義援金を原資として設立
された財団法人です。

当時の日本の建築界を担う人材
が集められた同潤会。災害に負け
ない都市での新たな住まい方を模索
しつつ、日本の先駆けとなる画期的

な集合住宅を創りあげます。電気・
ガス・上下水道完備の鉄筋コンク
リート造の「同潤会アパート」は、
震災後わずか3年という短期間で
実現しました。

同潤会アパートは、被災した都市

の人々の理想的な住まい
として憧れの的と
なり、昭和モダン
な暮らしぶりを世
に広めていきます。

その様子は当時の
新聞や雑誌でも

取り上げられ、入居申込が殺到
してなかには倍率20倍を超える
ほどの人気を博したアパート
も登場しました。

本展では、震災からちょうど3年
後の大正15年(1926)9月1日



[24号円型ガストーブ]

に貸し付けを開始した「青山ア
パート」をはじめ、都市近郊での
緑豊かなコミュニティの集合住宅居住
の姿を示した「代官山アパート」、
都心居住の新たなシンボルとなつた
同潤会の集大成「江戸川アパート」
を中心取り上げています。

震災100年を機に、同潤会
アパートが創りだした安全で快適な
住まいでの昭和モダンの暮らしぶり
を、当館収蔵の当時の写真や、実際に
当時の建物で使われていた、風呂
釜などのガス機器や設備の現物と
ともにご紹介します。

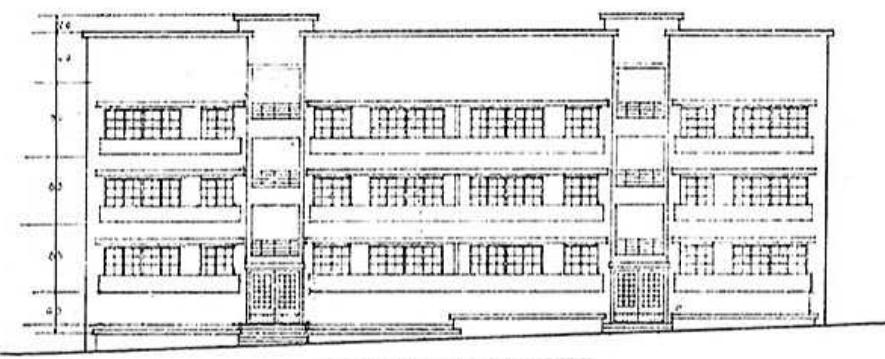


[ガスはやわき風呂釜]

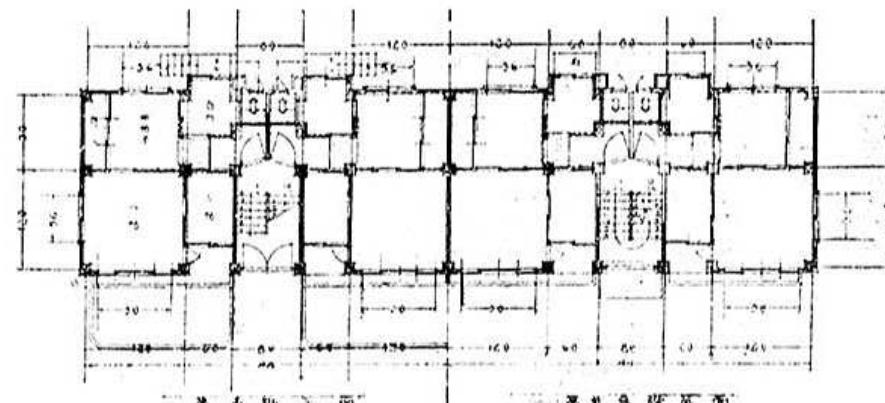
ラモ昭がア同 イダ和創ハ潤 フンつたト会

DOJUNKAI APARTMENT

7月15日(土)→9月18日(月・祝)



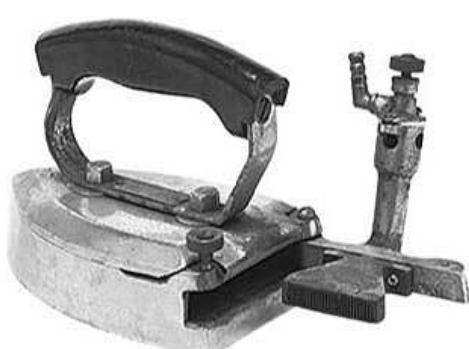
青山アパート A号立面図



青山アパート A号1・2階平面図



洗面用ガス湯沸器



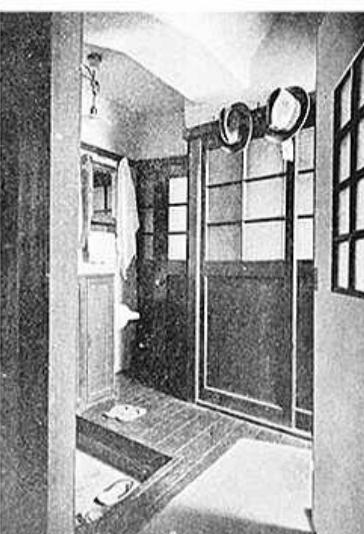
ガスアイロン



代官山アパート E号外観



「庭のない家」 代官山アパート



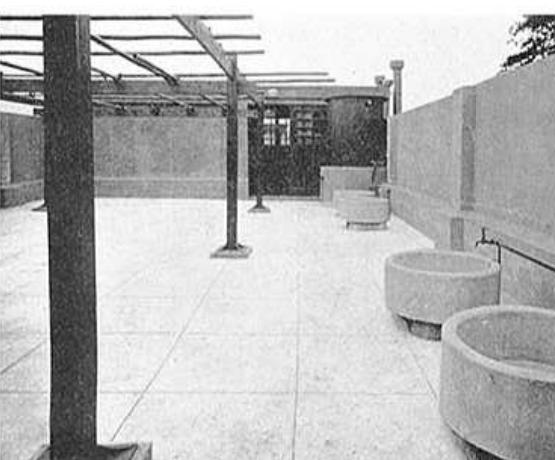
青山アパート B号玄関内部



台所



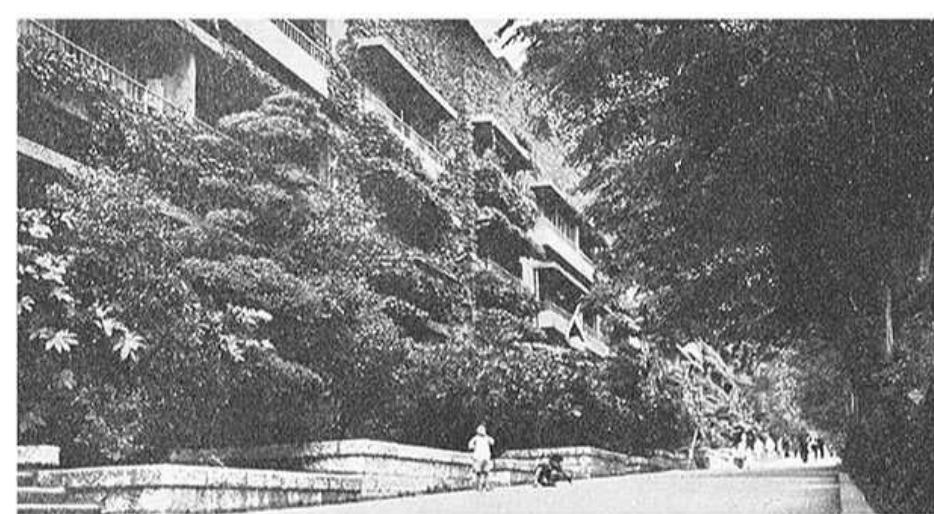
居間サイドボード風景 江戸川アパート



青山アパート A号屋上



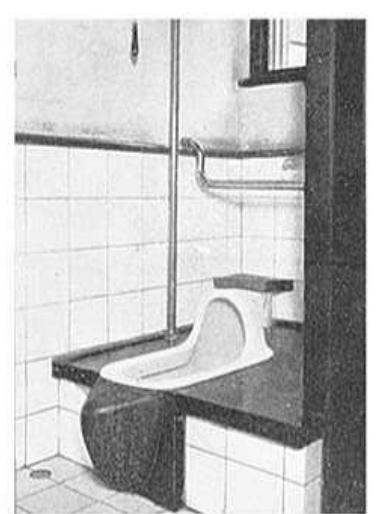
広縁 江戸川アパート



青山アパート外観



代官山アパート E号内部



水洗トイレ

 ガスミュージアム
GAS MUSEUM がす資料館

〒187-0001 東京都小平市大沼町4-31-25

TEL 042-342-1715

開館時間 10:00 - 17:00 月曜休館 入場無料

<https://www.gasmuseum.jp/>

- バス 西武池袋線 東久留米駅西口より[武21]錦城高校前経由
…武蔵小金井駅行き西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
西武新宿線 花小金井駅北口「花小金井駅入口」バス停より、
またはJR中央線 武蔵小金井駅北口より[武21]錦城高校経由
…東久留米駅西口行き西武バス「ガスミュージアム入口」
バス停下車徒歩約3分
徒步 西武新宿線 小平駅より徒步約20分(2km)
車 新青梅街道 滝山南交差点角 ※駐車場無料

